

「日々の理科」(第775号) 2016 (H28),-8,20
水彩画教室「高原の木かげ」
お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

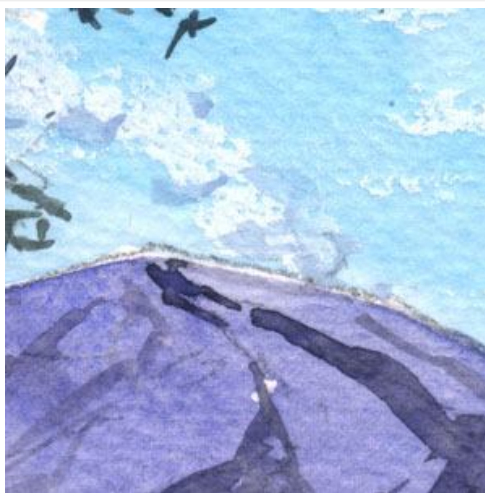
標高1100メートルの高原とはいえ 夏の晴れの日中は 25℃以上になります サイクリングは爽快ですが やはり木かげで休みたくなることもあります この木かげは 正面に浅間山も見えて ちょっと休むのに時にちょうどいいのです



これが完成した絵です



1、秋雲(高積雲)は 画用紙の凹凸を利用して 白のパステルで描きます



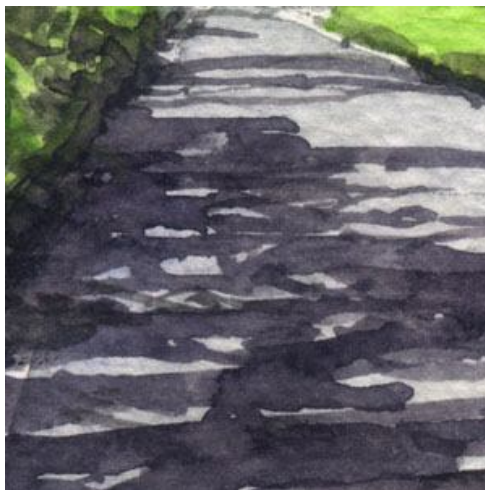
2、浅間山の山肌は 青紫を何度か重ねます 白煙(噴気)はパステルに影をつけます



3、木かげをつくっている樹木の葉は シヤドウ・グリーンを軽妙なタッチで描きます



4、遠くの民家(農家)は ほとんど屋根だけで描きます 窓は黒く 点描で



5、「主題」の木かげは 藍色(青+黒)で 慎重に横のタッチで重ねてゆきます



6、右側の牧草に落ちる影が一番難しい 特に路肩は かなり暗く描いたほうが良いです